

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

<環境保全活動に関する方針等>

【環境方針】

[理 念]

私たちは、地球環境の大切さを十分認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献します。

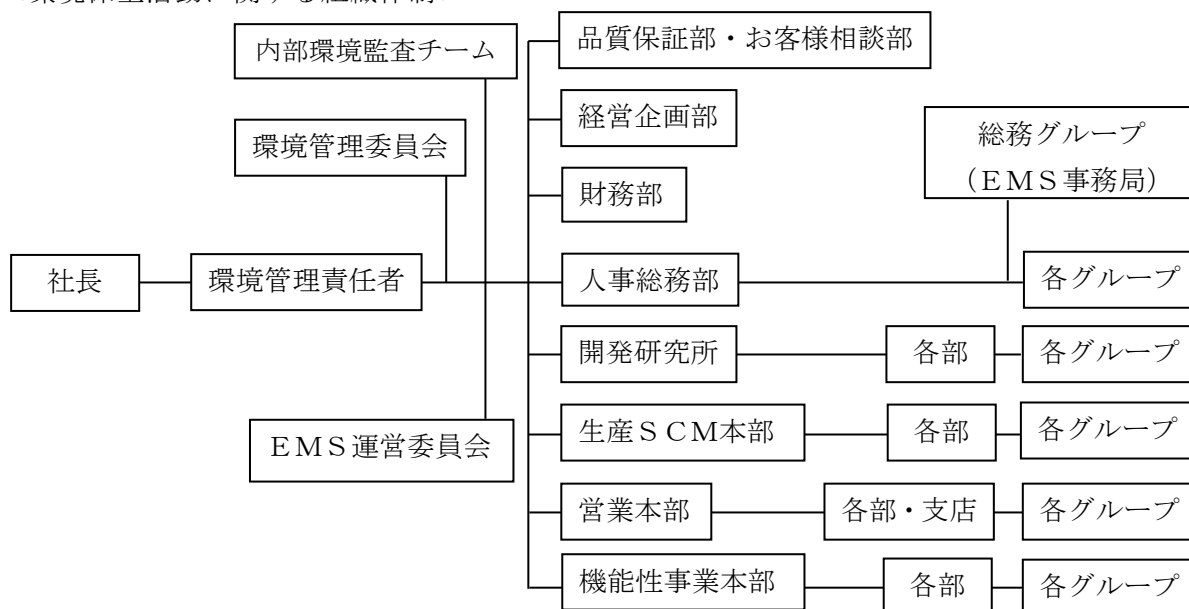
[指 針]

1. 事業活動全般について、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び地球温暖化物質等の排出抑制に努め、汚染の予防を推進します。
2. 事業活動の各段階で環境に配慮した商品・サービスの提供に努めます。
3. 環境に関わる法律を遵守するとともに、自主基準を設定し事業活動を行います。
4. 環境目標を定め定期的に見直すことにより、環境活動の継続的改善を図ります。
5. 環境教育を通して環境意識の向上を図り、環境活動に積極的に取り組みます。
6. 社内外に必要な環境情報を公開します。

(目標・計画等の公表の方法についても記載のこと。)

2 推進体制の整備

<環境保全活動に関する組織体制>



部署名	担当内容
人事総務部 総務グループ	環境関連窓口
生産SCM本部 生産SCM企画推進部 需給グループ	特定荷主の責任
生産SCM本部 生産部 生産運営グループ 第二チーム	環境測定および届出

別紙 2

3 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画 (2019年度計画)
1. CO ₂ 排出量原単位 2013年度から5.0%削減する。(製造グループ)	基準年度比生産数量約26%減の状況下、設備の省エネ機器への更新及びLEDの導入等の省エネルギー活動を試みたが、5.3%増加で、目標は未達成。	1. CO ₂ 排出量原単位 2013年度から年平均1%以上削減する。
2. CO ₂ 排出量総量を2013年度から16%削減する。(製造以外)	・勤務形態(自宅勤務、月間計画勤務等)の多様化を導入、室内温度管理(夏季:28℃、冬季:20℃程度)、昼食休憩中の消灯、LED照明導入等省エネルギー活動を実施。 ・製造以外では、研究棟更新のため2013年度比14%削減と未達成であったが、伊丹本社全体として2013年度比21%と目標を達成。	2. CO ₂ 排出量総量を2013年度から17%以上削減する。
3. 輸送方法の効率化の推進。 ガソリン使用によるCO ₂ 排出量を2013年度使用量から50%削減する。	・公共交通機関の活用、近場の自転車利用及びエコドライブ等の地道な活動を実施。更に業務利用が見込み以上に減少したため、2013年度比73.0%減で大幅に目標を達成。現状を踏まえて目標を適正な値で設定し、引き続きエコドライブ等により、使用量削減を試みる。	3. 輸送方法の効率化の推進。 ガソリン使用によるCO ₂ 排出量を2013年度使用量から75%以上削減する。
4. 廃棄物排出量を2013年度より原単位2%削減する。	・猛暑の影響による飲料廃棄の激減、期限管理による廃棄品の削減及びファイル等事務用品の再利用等の地道な活動により、2013年度比原単位2%削減となり、目標達成。	4. 廃棄物排出量を2013年度より原単位3%削減する。
5. 廃棄物の再資源化率99%。	・99.0%で目標は達成したものの、未資源化廃棄物の資源化の成果が出なかったため、引き続き検討課題としていく。	5. 廃棄物の再資源化率99%以上。
6. 排水時に飲料を流さないなど水質汚濁防止活動、排水規制値遵守。	・排水時に飲料を流さない等地道な活動及び排水処理設備の安定的な維持管理により、COD値(48.1mg/L)については、昨年度(52.5mg/L)より少し低減できた。またBOD値等の規制値を超えることは無かった。 (下水道の排水規制値、自主規制値ともに適合)	6. 排水時に飲料を流さないなど水質汚濁防止活動、排水規制値遵守。
7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品を開発する。	・1日分のビタミンゼリー段ボールケース材質低減を検討(50g/段ボールケース) ・新玄サブリ米組箱の材質低減検討。 (組箱重量1割減)	7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品を開発する。

8. 紙使用量を2017年度より1%削減する。	・ペーパーレス会議実施、保存ファイルの電子ファイル化及び複合機の機能活用等により前年比15%削減。	8. 紙使用量を2017年度より年2%以上削減する。
9. 環境月報による活動把握及びPDCA活動の推進。	・各グループ単位での環境月報報告により、進捗状況を確認。 ・各グループ単位で本業に関する環境活動目標を設定し、PDCA活動推進を実施。	9. 環境月報による活動把握及びPDCA活動の推進。
10. 環境に関する教育の実施。 ・社内一斉教育 ・部署毎の教育	・省エネ学習として、各職場で「省エネ以外の創エネ・蓄エネって？」を題材にした学習会を実施。(8～3月) ・各グループ単位の環境教育(年度計画)の実施。(内部環境監査にて教育状況を確認。)	10. 環境に関する教育の実施。 ・社内一斉教育 ・部署毎の教育
11. 地域社会活動への参加 ・事業場周辺の清掃活動。 ・事業場周辺の清掃活動(年2回実施)。	・事業場周辺の清掃活動を年2回実施。(5月、12月)	・伊丹市内の清掃活動への参加。 ・事業場周辺の清掃活動(年2回実施)。